

議会だより

いずみざき No.69

令和8年8月1日発行

ひよこ組 室内遊び



ちゅうりっぷ組 散歩



輝く未来をこどもたちへ 

いちご組 室内遊び



たんぽぽ組 室内遊び



つくし組
花火指導



いずみちゃん

目次

- | | |
|-------|-----------------------|
| 表紙 | 泉崎保育所のこどもたち |
| 2～4 | 6月定例会・7月臨時会 ～気になる中身は～ |
| 5～10 | 一般質問 5名が村政を問う！ |
| 11～14 | 議会インフォメーション・編集後記 |

泉崎村HPアドレス：<https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

令和8年6月定例会は6月4日から6月12日までの9日間で開催されました。
提出された報告2件、議案17件、合わせて19件のうち、18件を可決しました。
6月9日に行われた一般質問では、5名の議員が村政に対する熱い思いを投げかけました。

賛否の分かれた議案



(／：議長は採決に加わりません)

議案 番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	円谷亮一	白石正雄	鈴木義男	木野内悟	加藤恵子	鈴木保仁	安藤茜	長久保孝行	野崎隆	岡部英夫
議案第24号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第28号	令和8年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／

議案第28号

「令和8年度一般会計補正予算」

歳入歳出予算額の総額に歳入歳出それぞれ5,365万4千円を増額し、
予算総額を49億6,665万4千円とするもの。

について討論！

反対！
鈴木保仁議員

慎重に精査し、一度リセットして、もう一度きちっと
出していただくのが一番望ましいのではないかと思います、
今回の補正に対しては、反対！

一部事業の精査を要望し

採決の結果 否決！

6月定例会

全ての議案件名等は
こちらから



議 案 ピ ッ ク ア ッ プ

議案第27号

泉崎村移住定住促進住宅整備に係る土地使用貸借契約の締結について

泉崎村と広成建設株式会社（福島市）が土地使用貸借契約を締結するため、議会の議決を求めるもの。

可決！

天王台ニュータウンへ

新アパート建設のための第一歩！

ニュータウンにある未売地を民間事業者に無償で貸し出し、魅力的なアパートを建設することによって、本村への移住定住の促進を図っていきます。建築は広成建設（株）が発注し完成後、村が入居者を公募する予定です。

建設予定地：泉崎字天王山5番50



イメージ図

人 事 案 件

議案第31号～38号

農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

新たな農業委員8名に同意！

◎詳しくは、広報いずみざき8月号をご覧ください。

会議録 と 議会映像 は 村のホームページ からご覧いただけます！



4月～6月 アクセス件数

会議録
268件

（延べ 9,819件）

議会映像
177件

（延べ 9,454件）

スマートフォン

の方は
こちらから！



7月臨時会

全ての議案件名等は
こちらから



令和8年7月3日(金)に第3回臨時会が開催されました。

会議では、提出された議案2件を原案のとおり可決しました。

議案の内容をピックアップして紹介します。

審議した議案と各議員の賛否

(／：議長は採決に加わりません)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	円谷 亮一	白石 正雄	鈴木 義男	木野内 悟	加藤 恵子	鈴木 保仁	安藤 茜	長久保孝行	野崎 隆	岡部 英夫
議案第39号	泉崎村学校給食センターの建設工事請負契約の締結について	原案可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第40号	令和8年度泉崎村一般会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

議案第39号「センター方式での建設」について討論！！

泉崎村学校給食センターの建設工事について条件付一般競争入札により、藤田建設工業株式会社と契約金額7億620万円を請負契約を締結することについて議会の決議を求めるもの。

反対！白石正雄 議員

食育教育という観点から分析すると、センター方式より自校方式の方がはるかに優れている。給食は脳の発達に大きな影響を与えることから、温かくおいしくて、安全であることが求められる。また、自校方式は、地元農家との連携で地産地消や有機農業振興の中核になる可能性がある。給食センターは、泉崎村にとって重要な施設になるため、議員全員の賛成ではなかったということをも証明するためにも、反対！

センター方式が良いと私たち議員が賛成し、執行部もそれに向かって動いている。
入札が公平に行われ、業者が決まった今、世界状況や資材の高騰を考えるとすぐに施工し、早めに完成させた方が良いと思い、賛成！

自校方式で小学校2校と中学校、3か所に給食センターを造ったとして今後、統合という話が出てきてしまった場合は、どう考えているのか。また、地産地消などの話もあるが、教育課・給食センターで十分対応できるのではないかという考えから、賛成！

賛成！鈴木保仁 議員

賛成！鈴木義男 議員

議案第40号「令和8年度一般会計補正予算」 可決！

歳入歳出それぞれ4,740万5千円を増額し、予算総額を49億6,040万5千円とするもの。

主な事業

- ◆PMH対応システム改修業務委託料…727万8千円(補助金1/2)
※ひとり親医療・こども医療・重度障害者医療の受給資格をマイナンバーカードで確認できるようにするためのシステム改修費
- ◆橋梁補修工事…2,000万円
※高屋橋の塗装に含まれる有害物質を安全に除去するための補修工事費



高屋橋

一般質問

5人の議員が村政を問う

▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

① 白石 正雄・・・・・・・・・・6ページ

◆戦争による影響

◆地方自治と農業振興

◆高齢者の支援

◆国保税の軽減

◆残暑対策

② 円谷 亮一・・・・・・・・・・7ページ

◆村営住宅の老朽化対策は

◆泉崎村史 編さんを

③ 安藤 茜・・・・・・・・・・8ページ

◆不安を抱えることもたちや
保護者への対応は

④ 木野内 悟・・・・・・・・・・9ページ

◆村公用車の管理体制は

◆省力化に向けたスマート農業

⑤ 長久保 孝行・・・・・・・・・・10ページ

◆給食センター建設事業は

◆大字・小字簡素化及び地名変更の
住民アンケートは

住民生活

白石 正雄 議員
しろいし まさお



戦争による影響

問 ホルムズ海峡の封鎖は、世界経済と国内経済に重大な影響を与え、企業倒産の増加などの局面を迎えている。村内の影響はどうか。

答 村長

ホルムズ海峡の封鎖はエネルギーの大半を輸入に頼る日本にとって、ガソリン、電気代のさらなる高騰、物流コストの上昇による物価高、円安の一層の進行が懸念される。長期化すれば企業の経営コストの上昇や経済活動の停滞、さらには住宅資材の不足など国内における影響も計り知れない。

本年3月にガソリン業者から相談があり、緊急的な措置として単価の見直しに対応した。動きについて注視していきたい。紛争は一日も早く解消して欲しい。

地方自治と農業振興

問 戦前、満蒙開拓政策が実行され、多くの犠牲者を出したが、一人の犠牲者も出さない村があった。国政の動きは、力による対決の方向に向かっている。憲法に基づく地方自治のあり方と、最も重要な食料生産について、中島村と協力し有機農業推進室を作り農業振興をすすめるべきではないか。

答 村長

地方自治体を預かる者として、地方自治法その他法令にのっとり法律の範囲内で事務事業を行うこととなることは明らかだが、住民に身近な基礎自治体と

して、住民のニーズに即したサービスを提供するとともに、行政が一方的にサービスを提供するのはなく、住民や企業などが協働して地域課題を解決する視点を重視しながら、多様化する住民の声に真摯に耳を傾け、地方自治体の執行者として職務に当たるべきと考えている。

食の安全・安心を確立し、日本の農業を持続可能なものとするためには、農業者の高齢化、担い手不足、荒廃農地の増大などの課題を解決するとともに、有機農業への転換、循環型農業への取組の強化等が必要になってくると認識している。国・県から提供される情報を的確に捉え、全国の先進事例等を参考にしながら有機農業、農産物の消費拡大についても、どのような取組が可能であるか、組織編成も含め引き続き検討していきたい。

高齢者の支援

問 高齢者が安心して老後を送れる社会システムは最も重要。退職後の高齢者に対する支援に注力する必要がある。村内在住高齢者の実態と支援を伺う。

答 保健福祉課長

- ① 65歳以上75歳未満の高齢者数1,119人
- ② 75歳以上の高齢者数990人
- ③ 独居老人世帯数405世帯
- ④ 高齢夫婦世帯数310世帯
- ⑤ 実行されている見守りや支援政策の現状、社会福祉協議会委託事業を含め多数を実施。

今年度生活支援としてゴミ出しなどの軽作業支援を考えている。

国保税の軽減

問 今年は子ども子育て支援金の創設で、国保加入者の負担がさらに増えていくことが確実である。国民健康保

険税は、各種村民負担の中でも最も重い負担となっている、軽減対策を伺う。

答 税務課長

新しく算定区分として子ども・子育て支援金分が追加され、国の試算では年収200万円の世帯で月額約250円から400円、400万円の世帯では月額約550円、600万円の世帯で約800円の負担となる。村独自の軽減策はとっていないが、県の標準税率に合わせ税率の見直しを行い、税の軽減を図った。

白石

来年も再来年も引き上げていくことがないように、検討するべきである。

酷暑対策

問 今年の夏も酷暑が予想される。その準備と対策について伺う。

答 教育課長

定例で開催している

校長、園長会の会議の際に、暑さ対策や熱中症事故防止の徹底を指導。今年度も、5月20日開催の同会議において、危機管理の一つとして熱中症事故防止について指導しており、今後も各種会議等において、こまめな水分補給、適切なエアコンの使用、暑さ指数にに応じた対応など、引き続き指導を徹底していく。幼稚園、小中学校は各教室や職員室などにエアコンを設置。体育館は今後検討していく。冷水機は、中学校では各学年ごとに1台、計3台を設置、幼稚園と小学校については設置されていない。

白石

小中学校暑さ対策の拡大と同時に、村民に対する熱中症対策が必要である。

この他、図書館の充実とともに、村史の編纂体制整備の一般質問を行いました。

つむぢや
りょういち
円谷 亮一 議員



村営住宅の老朽化対策は



いずみ団地

問 谷地久保地内にある、いずみ団地は、見た目にも老朽化が激しく、耐震基準などの安全性の面から見て、早急な対応が必要と考える。現在のいずみ団地の状況と今後の予定について伺う。

答 建設水道課長
いずみ団地は、建築から長期間が経過しており、老朽化が著しく進行している。現在、村営住宅としては昭和49年度建築が1棟、昭和50年度建築が2棟、昭和51年度建築が2棟の合計5棟を管理しており、このうち昭和51年度に建築された棟については、現在も3世帯4名の方が居住している。村では、老朽化した村営住宅

への対応を進めるため村営住宅長寿命化計画を策定しており、今年度に解体工事に係る概算事業を算出し、補助金申請を行う予定。来年度には解体工事の実施を目指している。現在居住されている方々については、高齢化も進んでおり、建物の老朽化による倒壊等の危険性も懸念され、安全確保の観点から、他の住宅への移転について丁寧の説明しながら、ご理解をいただけるよう働きかけを行っている。しかし、現時点では移転に対するご理解を十分にいただけない状況であり、今後とも入居者の事情に配慮しつつ、引き続き粘り強く協議を進める。

泉崎村史編さんを



問 我が泉崎村では、これまで遺跡や古墳など数多くの文化財が出土している。古くは縄文時代の遺跡から多数の土器片や石器などが発見をされており、とりわけ古墳時代に造られたとされる泉崎横穴や原山古墳から出土した埴輪などは、現在も泉崎を象徴する重

要な文化財となっている。また、関和久官衙遺跡は、7世紀末から10世紀後半までの約250年間にわたる役所としての機能を果たした古代の白河郡衙の跡であるということが分かっている。それ以外にも、村内には烏峠稲荷神社や関和神社、昌建寺や雲月寺などの神社仏閣が存在し、峠節や盆踊り、また、まいこんだといった伝統文化、風習が今でも受け継がれている。

このように、泉崎は歴史も古く、地方行政の要衝としての役割を担ってきた地域であるということを考えれば、これまでの歴史を本という形で残すのは非常に価値が高く、意義深

いことである。

泉崎村史「目で見る泉崎村のあゆみ」の発行から間もなく50年になろうとしており、その間、泉崎村も大きく様変わりをした。改めて村史の編さんが必要ではないか。

答 教育課長
現時点において、村史編さんについて具体的な計画等はないが、村の歴史・歩みなど記録として残し、後世に伝えることは大変重要なことであり、今後どのようにしていくか協議検討を図っていきたい。



泉崎横穴内部

あんどう あかね
安藤 茜 議員



不安を抱える子どもたちや 保護者への対応は

問

本村の小中学校へ通っている子どもたちで、心身の不調や精神的な負担により、毎日学校へ通うことが困難な児童生徒が増えています。また、支援を必要とする児童生徒が増加している一方で、教職員の業務負担は年々増しており、子供に寄り添った継続的な支援を行うことが難しい状況もあると考えます。

本来であれば、心療内科等へ相談し、適切な支援を受けることが望ましいものの初診まで数か月以上待たなければならぬケースもあり、必要な支援を受けられないこともありま

す。保護者の方も毎日声かけをしたり、会

社を休んだり早退したりと、仕事と子どもの両立で大変苦労なされています。結果、教室に入れないことへの不安や孤立感が深まり、不登校の長期につながることも懸念されています。かつて、小

野教育長が第一小学校の校長をされていた時、空き教室を利用して、そういった子どもたちへの学校での環境づくりをされていたと記憶しております。実際に私の息子も大変助けていただきました。①現在の各学校の状況について
②今後、学校内にサポートルームの設置及び常駐する専門教員の配置について伺います。

答 教育長

①小中学校の不登校及び不登校傾向にある児童生徒の状況は、次の通りです。

	30日以上欠席の不登校者数	不登校傾向者数
一小	0名	4名
二小	0名	1名
中学校	6名	6名

学校の対応
・家庭訪問や電話連絡
・通級指導教室との連携
・短時間登校
・カウンセリングの実施
など心のケア
・ケース会議や情報交換を綿密に行い、組織として対応

②中学校において不登校が課題となっていたため、昨年6月にスペシャルサポートルームを開設しております。空き教室を活用し、生徒が自分のペースで自分の興味関心に応じて学習できる教室であり、毎日開設しております。教員の配置ですが、第二小学校を退職された教諭を村の会計年度任用職員として雇用し、今年度からスペシャルサポートルーム担当として配置しております。本村の状況を熟知し、また特別支援教育にも精通され、適任であることから専任雇用したものであります。

問 中学校でその教室を利用しているこ

どもたちの様子はどうでしょうか。

答 教育長

4月5月と、子どもたちが数多く活用している状況は確認しております。人数は、把握しておりませんので、後ほど議員のほうにお伝えしたいと思います。

安藤

教室に入れなければ、学校に行けないのではなく、まずは学校に「行ける場所がある」という選択肢を確保することで、学びの継続と心の安定につながるのではないかと思います。ぜひ、安心して学校生活が送れるよう、一小、二小にも設置の検討をお願いします。

きのうち
木野内 悟議員



村公用車の管理体制は

問 磐越道にてバス事故が発生し高校生1名が死亡、17名が重軽傷を負った痛ましい事故がありました。そこで村公用車を職員又は関係者が運転する場合の規定又は、車両においてどのような管理になっているのか伺う。

答 教育課長

村車両管理規則に従い、次のような項目が定められております。車両管理責任者を任命し、所在を明確にすること、運転者は公用車運行に関する記録を記載する。日常点検や整備

管理を定期的に実施する。事故やトラブル時には、負傷者救護、警察の通報、管理者に報告をする。又、職員等において、免許証の有効期限の確認、アルコールチェック、酒気帯び確認の徹底など、安全管理体制に努めております。

問 外部の方がマイクロバスなどを借りた場合の規定又は、車両においてどのような管理になっているのか伺う。

のか伺う。

答 教育課長

使用許可申請書と誓約書を提出してもらい、出発時には各種点検を行う。使用後、車内外の清掃を行い燃料を満タンにして返却すること、

酒気帯び有無を確認し、検知された者には運転させないことと明記しております。使用に当たっては力ギと一緒にアルコールチェックを渡し、運行日誌を記載してもらいます。

木野内 外部の方にマイクロバス使用後の話を伺うと日誌の記載漏れや車両の不備、燃料が満タンになっていないことも散見されるので管理徹底をお願いしたい。

省力化に向けたスマート農業

問

※1 スマート農業が普及しつつある中、県も※2 RTK基地局を県内11ヶ所に設置をし、スマート農業を後押ししておりますが、小規模農家や費用負担が大きいという理由でGPS機能をつけられない農家もおります。離農を防ぐ対策として、

答 産業経済課長

村の助成も必要と考えますが見解を伺う。

県では令和6年度からスマート農業の加速化推進事業としてRTK基地局を設置し、GPS位置情報の補正情報を提供することで普及を強力に推進しております。本村の基幹産業である農業の持続的な発展のためには、若い農業者が経営を続けられる環境整備が不可欠であり、スマート農業による省力化は、高齢化が進む中で農業継続を可能とする重要な手段であり、離農防止対策として極めて重要な施策であることを認識しております。これまで国・県の補助制度を活用した農

業支援を進めてまいりましたが、小規模農家や個人農業者を対象とした村独自の補助制度の創設を、近隣市町村や先進事例も参考にしながら、前向きに検討してまいりたいと思います。

近隣市町村の助成状況

近隣市町村	補助対象者	補助率
白河市	・認定農業者・指定農業者 ・3戸以上で組織された団体	市1/2 上限額10万円 (500万円未満の場合)
矢吹町	・認定農業者・指定農業者	補助事業1/10以内 上限額10万円
中島村	・国、県の認定を受けた機械設置の導入者	補助事業1/10以内 上限額700万円
西郷村	・認定農業者・指定農業者 ・3戸以上で組織された団体	市1/2 上限額50万円

※1 スマート農業とはGPSや位置情報を活用し、トラクターや田植機など自動運転で農作業を行う次世代の農業。

※2 RTK基地局とはGPSなどの衛星測位の誤差をcm単位に補正する基準点。位置が完全に固定された基地局で補正データを生じ、移動局(トラクターやドローンなど)に送信することで、高精度な自動運転を実現する。

給食センター 建設事業は



ながくほ たかゆき
長久保孝行議員

問 建設予定の進捗状況について伺う。

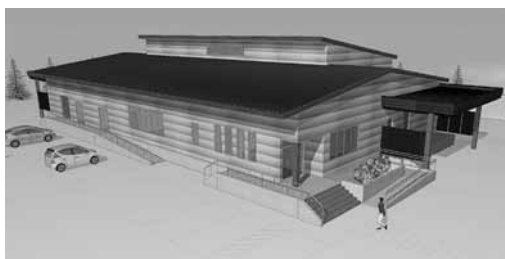
答 教育課長

令和7年度に用地造成、排水路整備工事と建物設計業務を行ったところであり、現在6月末頃の建築工事入札に向けて準備しているところであります。

問 原油高騰に伴う建設費の見直しがあるのか伺う。

答 教育課長

建設費については積算業務の結果、令和8年度当初予算計上の工事請負費の範囲内であり特に増額はありません。



給食センター完成イメージ図

(建築工事費予算
7億6,989万円)

問 当初予定の令和9年度4月からの給食提供開始に変更はないか伺う。

答 教育課長

現時点においては、令和9年4月からの給食提供に向けて取り組んでおり変更はございません。

大字・小字簡素化及び地名変更 住民アンケートは

問 アンケート調査の回収状況について伺う。

答 総務課長

住民アンケート調査については、外国人世帯や老健施設を除く全世帯2,236世帯を対象に実施。回収は1,080世帯で回収率48.3%となっております。

問 アンケート調査の集計完了時期について伺う。

答 総務課長

アンケート調査の集計は、5月末で完了しました。今後、調査結果の分析や関係部署との連携を図り、今後の方向性を検討して参りたいと考えております。

アンケート回収状況

アンケート調査世帯	回収世帯	回収率
2,236世帯	1,080世帯	48.3%

えております。

常任委員会報告

経済文教常任委員会

村の安全と 更なる発展

陳情書 第6号

福島県教職員組合 中央執行委員長
酒井 和紀氏 提出

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書

東日本大震災で被災をし、経済的理由により就学等が困難な子供を対象に、「被災児童生徒就学支援等事業」が全額国庫負担の交付金事業として行われているが、事業に係る予算措置は単年度のため、今後事業が終了もしくは規模の縮小等が懸念される。東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子供たちの就学等を保障するためにも、令和9年度以降も事業の継続と予算の確保が必要であることから、**採択すべきものと決定。**

各課の詳細説明

◆教育課 一般会計補正予算の給食センター解体設計委託料の概要及び運動公園管理費のクロスラントリ－修繕工事について質問し説明を受けた。

◆産業経済課 一般会計予算で商工費工業団地管理費の草木伐採手数料について質問し、第一工業団地の防災調整池の堤体部の松の木伐採作業と説明を受けた。

◆建設水道課 一般会計予算の土木費の橋梁費で橋梁補修工事について質問し、PCB含有塗料を含んだ橋桁の塗装を安全に除去し、新たに塗装を行う工事と説明を受けた。また、泉崎駅周辺整備計画で概要及び進捗状況について今後改めて説明するよう要望した。



総務厚生常任委員会

福祉の充実と 安心する暮らし

陳情書 第5号

日本労働組合総連合会福島県連合会
白河地区連合会 議長 藤田 隆
司氏 提出

地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書

地方公共団体は、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められている。加えて、多発化する大規模災害への対応も求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感、日々深刻化している。これらに対応するため、地方財政について、政府は「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示しているが、増大する行政需要に十分対応し得るのか、不透明な部分もあるため、地方財政の充実、強化が不可欠であることから、**採択すべきものと決定。**

各課の詳細説明

◆こども支援課 泉崎村特定乳児等通園支援事業は、事業者へ助成金（0歳児1,300円、1歳児1,100円、2歳児900円）が助成されるが、利用者はいないと説明を受けた。

◆税務課 泉崎村国民健康保険税条例において、国民健康保険税の前納制度の導入にあたり、外国人の該当人数を確認するよう要望した。

◆総務課 「災害対策・各課の人員定数・所管する課の事務について」は、引き続き調査、検討を進めることを確認した。



小学校運動会

5月16日(土)

第一小学校・第二小学校の運動会が行われ、こどもたちの一生懸命な姿を応援してきました。



二小「鼓笛隊演奏」



一小「開会式」

「愛郷の輝き」 田植え体験

5月17日(日)

愛郷の輝き交流事業の田植え体験に議員6名で参加しました。美味しい日本酒になるよう、願いを込めて苗を植えました。



今年も美味しいお酒ができますように



挨拶を述べる岡部議長

衆議院議員のもとへ表敬訪問

5月26日(火)

泉崎村の更なる発展のため、衆議院議員の上杉謙太郎氏と菅家一郎氏のもとへ村議9名で表敬訪問いたしました。



上杉議員との意見交換



写真下段左から2番目
上杉 謙太郎 衆議院議員



菅家議員よりバックヤード構想について



写真下段左から2番目
菅家 一郎 衆議院議員

議長杯グラウンド

ゴルフ大会

5月28日（木）

第30回泉崎村議長杯グラウンドゴルフ大会が八雲グラウンドで行われ、岡部議長は始打式を務めました。参加された皆さんありがとうございました。

【成績結果】

男子の部

優勝 緑川 武男

準優勝 窪木 伸典

3位 飯田 磁男

4位 宮本 正司

5位 佐藤 喜志郎

6位 吉田 孝生

7位 宮川 安弘

女子の部

優勝 吉田 清恵

準優勝 田崎 ケイ子

3位 深谷 スイ

4位 黒崎 節子

5位 田崎 元子

6位 緑川 悦子

7位 小林 信子



始打式の様子



参加者の皆さんと一緒に
記念撮影



挨拶を述べる岡部議長

広報研修会

7月1日（水）

村民の皆さんが分かりやすいと思える議会だより制作のため、広報研修会に議員9名で参加してきました。



講師 かない しげき
金井 茂樹 氏



涌谷町議会来庁

7月8日（水）

宮城県涌谷町議会の皆さんが泉崎村の「人口増加に関する取組」を題材に、視察研修に来訪されました。住みやすい街をつくるためには、意見交換を行い、泉崎村議会にとっても貴重な研修となりました。



視察研修会の様子

◆ 次期定例会の予定 ◆

一般質問 9月8日(火) / 議案審議 9月11日(金) 予定

開会 9月3日(木)

第10回議長杯パークゴルフ大会

第10回泉崎村議長杯パークゴルフ大会が6月24日(水)に開催されました。議会からは、円谷亮一議員と鈴木義男議員が大会に出場し、参加者の皆さんと一緒にプレーを楽しみました。また、表彰式ではプレゼンターとして入賞された方々に賞品を贈呈させていただきました。



議会代表挨拶をする
野崎副議長



プレーを楽しむ参加者の皆さん



表彰式の様子



参加者の皆さん
ありがとうございました！

成績結果

男性の部

石上 光 (いわき)

泉田 文男 (浪江)

川原 学 (泉崎)

阿部 幸二 (小野)

金澤 睦男 (泉崎)

女性の部

優勝 佐川 クニ (西郷)

準優勝 後藤 初枝 (郡山)

3位 芳賀 年子 (泉崎)

4位 鈴木 代志子 (西郷)

5位 佐藤 アキ子 (白河)

編集後記

本格的な夏を迎え、蟬の鳴き声が響き渡りよりいっそう夏を感じる季節となりました。

議会だよりでは、定例会での審議内容や議案、議会活動など掲載しております。

これからも議会活動をより分かりやすくお伝えし、皆様に親しまれる議会だよりづくりに努めてまいります。

まだまだ暑い日が続きますので、熱中症などには十分ご留意いただき、健やかに過ごしてください。今後とも議会へのご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

(文責 鈴木)

編集・発行責任者
編集委員会
議長 岡部 英夫

委員長 鈴木 保仁
副委員長 安藤 茜
委員 長久保 孝行
委員 岡崎 英夫

岡部 英夫